

WRAYMER

UVリングライトUVW365

取扱説明書



このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございました。
本製品の性能を十分に発揮させるためおよび安全確保のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
製品使用時には、常にお手元に置いていただき、お読みになったあとも大切に保管してください。

1. 特徴

ピーク波長が365nmのUVライト(UV-A波長)と、6400Kの高輝度白色光照明を搭載しています。紫外線LED光源は39灯、高輝度白色光LED光源も39灯搭載しています。

紫外線を利用して蛍光体の励起が可能です。蛍光磁粉探傷検査・蛍光浸透探傷検査・漏洩検査、コンタミネーション検査など様々な用途でご利用頂けます。

紫外線と白色光はそれぞれ独立してON/OFF・調光が可能です。それぞれを単体で使用することも出来ます。紫外線と白色光の切り替えが容易なので、試料の紫外線下像と白色光下像を同じ画角で観察出来ます。また紫外線と白色光を混ぜて使用することも出来ます。光量調整は無段階で、観察に適した光量に調節することができます。

ズーム型実体顕微鏡やビデオズーム顕微鏡に取り付けてご利用頂けます。

UV-Aの中でも比較的波長が長い紫外線を利用いるため、生体への危険性が小さく、適切に使用すれば人体への影響はありません。付属の紫外線カットフィルタは、肉眼での顕微鏡観察時の目への影響を軽減します。

2. 各部の名称

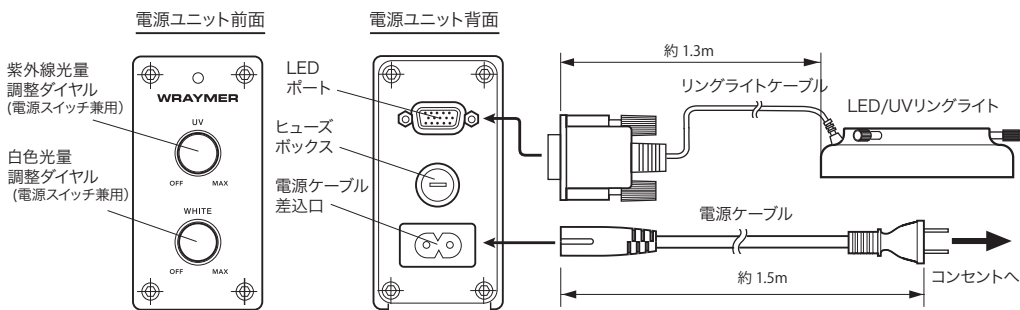


図 1

3. 照明部の構成

1. 紫外線カットフィルタについて

紫外線カットフィルタは 双眼実体顕微鏡で使用する際に、双眼部への紫外線をカットする目的で使用します。三本の取り付けネジを一旦外したのち、図2に示す四角い切り欠き部(矢印)が三カ所ある方の面を下にして、リングライト本体に落とし込んで下さい。

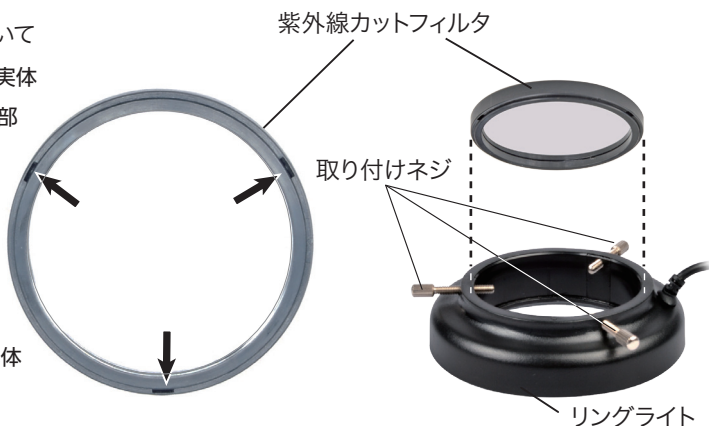
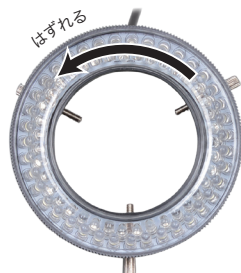


図 2

2. 透明カバーについて

透明カバーは、保管時に発光部を保護するためのものです。
使用時は、より均一な照明を得るために反時計回りにまわし、
透明カバーを外した状態で御使用ください。



4. 使用方法

1. 取り付けネジでリングライトをしっかりと顕微鏡に固定してください。
2. 電源ユニットの2つの光量調整ダイヤルを反時計回りに回し“OFF”の位置にしてください。
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
4. 電源スイッチを“ON”にし、光量調整ダイヤルを時計回りにまわして適正な光量で使用してください。

白色光、紫外線光はそれぞれ単独で調整できますので、混合光を得ることも可能です。

ヒューズの交換

感電ややけどのおそれがあるため、ヒューズを交換する前にはスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、ヒューズが完全に冷えるまで待ってください。ヒューズボックスは電源ユニット背面にあります。ヒューズボックスのネジを外すときは、図3のようにマイナスドライバー等で強く押しながら、反時計回りに約90°回して外してください。セットするときは、図4のようにヒューズボックスの蓋のミゾを縦位置にして、強く押しながら時計回りに約90°回して固定してください。

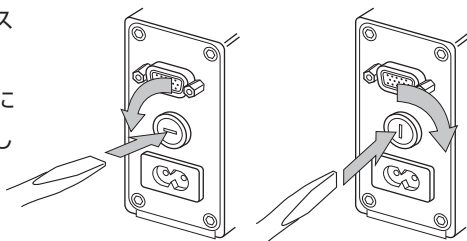


図 3

図 4

5. 主な仕様

LED	紫外線LED 39灯+高輝度白色LED 39灯
紫外線LEDのピーク波長	365nm
白色LEDの色温度	6400K
対応鏡筒外径	48 - 62mm
推奨作業距離	70 - 100mm
電源入力	AC100-240V / 50-60Hz 'ワールドワイド'電源仕様
コード長	リングライト - コントロールユニット間 約1.3m
	電源ユニットケーブル 約1.5m
重量	リングライト 約0.15kg(紫外線カットフィルタ含む)
	電源ユニット 約0.6kg
ヒューズ	1A 250V

WRAYMER

株式会社レイマー

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-8-15 野村不動産大阪ビル6F

TEL : 06-6155-8230 FAX : 06-6155-8450

E-mail : arch@wraymer.com

Online Shop : <http://www.wraymer.com>